「プライマリ・ケア認定薬剤師としての生涯学習への取り組み」

所属：有限会社キタファーマシー　キタ薬局

演者氏名：北　雄一朗

薬剤師の生涯学習について、平成３１年３月に日本薬剤師会より「薬剤師のかかりつけ機能強化のための研修シラバス」が発表されました。薬剤師が対人業務においてその専門性等を発揮し、かかりつけ薬剤師としての役割を果たすために、関係団体・学会等がこのシラバスを共通の指標として必要な研修機会を提供していくことが期待されています（※１）。今後の佐賀県薬剤師会、地域薬剤師会の研修会の在り方も議論・検討していただいていますが、研修会開催側の問題としてだけではなく、薬剤師一人一人がこのシラバスを活用して自分の生涯学習を能動的に取り組んでいく必要があると思います。

また、薬剤師に対する各種の生涯学習と認定制度を第三者評価する機関としてＣＰＣ（薬剤師認定制度認証機構）があります。ＣＰＣでは、基準に適合する優れた研修認定制度を認証し公表することによって、薬剤師の資質及び専門性の向上に寄与し、それにより、国民の保健衛生の向上と生活の改善に貢献することを目的に、薬剤師に対する各種生涯研修・認定制度の評価及び認証等の事業が行われています。現在、３０団体の生涯研修認定制度が認証を受けており、全て同列の認定として扱われています（※２）。馴染みがある認定制度としては、公益財団法人日本薬剤師研修センター「研修認定薬剤師制度」「JPALS 認定薬剤師制度」などがあります。

　私が生涯学習の場として所属している「日本プライマリ・ケア連合学会」には、ＣＰＣの認定を受けた「プライマリ・ケア認定薬剤師制度」があります。２０１３年（平成２５年）６月学会入会を機に研修受講を開始し、２０１６年９月に認定を取得。今年２０１９年初めての更新申請にてポートフォリオ提出を経験しました。ワークショップを中心とした研修会が中心で、その内容はCommonDisease、ＥＢＭ，ウィメンズヘルス、認知症、精神疾患、生活習慣病、地域包括ケア、多職種連携、ＯＴＣ、漢方薬等と多岐に亘ります。

　今回は、認定取得から更新申請にかけて、約７年間で経験した「日本プライマリ・ケア連合学会」での生涯学習について、紹介したいと思います。

※１：日本薬剤師会　薬剤師のかかりつけ機能強化のための研修シラバスより引用

※２：薬剤師認定制度認証機構ホームページより引用